

群マネモデル地域の検討状況 (R7.12.18時点)

群マネモデル地域の検討状況(R7.12.18時点)

[群マネモデル地域の対象分野・ポイント]

●: 広域連携(複数自治体)での検討 ○: 多分野連携(単独自治体)での検討

類型	自治体	道路	河川	公園	下水道	その他	モデル地域としてのポイント
広域連携	① 垂直連携						
	和歌山県 (他1市3町)	●	—	—	—	—	・県と1市3町の垂直連携(橋梁の集約再編計画を共同策定) ※県道と市町道のペアでの機能検討も ⇒R7年度 県と1市3町共同で計画策定予定
	広島県 (他2町)	●	—	—	—	—	・県と2町の垂直連携(県道・町道の日常維持管理) ⇒R8年度 具体的な業務発注に向けた調整を開始予定(対象エリアの確定等)
	② 水平連携						
	北海道幕別町 (他1町)	● ○	○	○	—	—	・2町の水平連携(橋梁の点検・設計・計画策定、除雪管理システムのデータ連携等) ・幕別町単体での多分野連携(道路+河川+公園の日常維持管理等) ⇒R8年度 協定締結や発注手続き等を予定(R9年度の実施に向けて) ⇒R9年度 窓口業務の広域連携も検討
	大阪府貝塚市 (他7市4町)	●	—	●	●	—	・12市町の水平連携(道路、公園、下水道それぞれの業務実施) ⇒R7年度 モデル事業を実装(道路:ドラレコを活用したAI道路点検(12市町)、公園:遊具点検(2市)、下水道:事業所排水規制業務(9市町)) ⇒R8年度以降 業務拡大も検討(道路附属物点検、遊具修繕等)
	兵庫県養父市 (他2市2町)	●	—	—	—	—	・水平連携(橋梁の一括管理:修繕設計・修繕工事) ⇒R8年度 業務発注予定(一部市町に限定した先行発注を想定)
多分野連携	奈良県宇陀市 (他3村)	●	—	—	—	—	・1市3村の水平連携(橋梁の一括管理:点検・修繕設計・修繕工事)※CM方式の活用視野 ⇒R7年度 試行業務(橋梁点検(3市村))を発注 ※R8年度 点検・設計・工事(管理・支援)業務の共同発注(1市3村)
	島根県益田市 (他2町)	●	—	—	—	● (農林道)	・1市2町の水平連携(農林道含む橋梁・トンネルの一括管理:点検・修繕設計) ⇒R7年度 橋梁点検(1市2町)を発注 ※R8年度 設計業務も追加検討
	秋田県大館市	○	○	○	○	○ (農林道)	・多分野連携(道路(農林道含む)+河川+公園の日常維持管理) ⇒R7年度 大館西地域で業務開始 ⇒R8年度 下水道(雨水幹線、都市下水路の浚渫)も包括化(大館東地域で発注手続き中)
	滋賀県草津市	○	○	○	—	—	・多分野連携(道路+河川の日常維持管理) ※公園は長期的に検討、下水道は別途ウォーターPPPを検討中
	広島県三原市	○	○	○	—	—	・多分野連携(道路+河川+公園の日常維持管理) ⇒R8年度 業務発注予定(併せて、維持管理DXに向けてR7年度から発注手続き予定:住民からの要望受付から修繕指示までのプロセスを、一元管理するシステムを導入)
	山口県下関市	○	○	—	○	○ (臨港道路)	・多分野連携(道路(跨線橋含む)+河川の日常維持管理) ※将来的に臨港道路や下水道の包括化も検討

群マネの実施方針(和歌山県、橋本市、かつらぎ町、九度山町、高野町)

[自治体が抱える課題と群マネ導入で期待する効果]

「和歌山県(伊都地域)における橋梁の集約・再編に関する計画策定」

[実施内容]

(1) 業務のマネジメント戦略

① 対象範囲(インフラ分野×業務プロセス)

業務プロセス インフラ分野	日常維持管理業務		構造物の定期点検関連			
	窓口業務	維持作業	計画策定	点検	設計	工事
道路			連携して計画策定	橋梁点検・設計・工事の一括化		
河川						
公園						
下水道						
その他						

■ R7年度(道路(橋梁))を対象に橋本市、かつらぎ町、九度山町、高野町で計画策定)

■ R8年度以降(上記、1市3町で包括的な業務発注について検討)
(県内各市町村で計画策定を検討(振興局単位))

* 上記の補足

<橋梁の集約・再編計画>

- * まずは、対象地域において、道路(橋梁)を対象にした計画を策定
- * 県内各市町村(振興局単位)で検討(将来検討)

<包括的な業務発注に向けた可能性の検討(将来検討)>

- * メンテナンスコスト縮減及び業務量縮減手法について検討
(まずは、道路(橋梁))に関して検討)

② 発注方式等

- 契約期間の複数年化: 有・~~無~~
- 性能規定の導入: 有・~~無~~

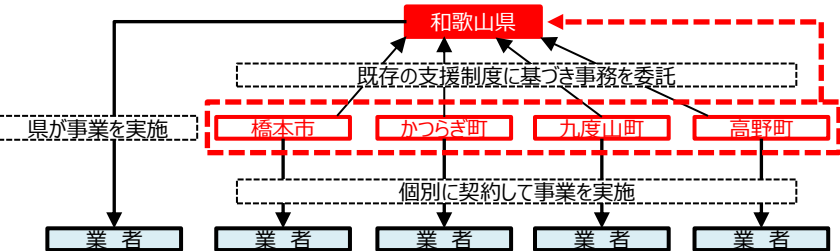
(2) 自治体の束

<橋梁の集約・再編計画>

県による垂直連携により、共同で計画を策定



<包括的な業務実施に向けた可能性の検討(将来検討)>



- 地方自治法上の共同処理制度の適用: 有・~~無~~
- 連携協力道路制度の活用: 有・~~無~~

(3) 技術者連携、データ連携

① 技術者連携の具体メニュー

- ⇒ ・インフラメンテナンス研修の実施(橋梁点検に関する机上研修・現場研修)
- ⇒ ・インフラメンテナンス会議を活用し、群マネの取組事例の共有を予定

② データ連携の具体メニュー

- ⇒ ・各市町で導入しているインフラ管理システムについて情報共有
例) 和歌山県: My City Report、ロードマネージャー(道路)
橋本市: LINEによる通報(道路・公園遊具・空き家等)

群マネの実施方針(広島県、安芸太田町、北広島町)

[自治体が抱える課題と群マネ導入で期待する効果]

「リソースの有効活用・効果的な人材育成に関する連携事例」

[実施内容]

(1) 業務のマネジメント戦略

① 対象範囲(インフラ分野×業務プロセス)

業務プロセス インフラ分野	日常維持管理業務		構造物の定期点検関連			
	窓口業務	維持作業	計画策定	点検	設計	工事
道路	巡回 ① 修繕 ② 清掃 ③ 除草 ④ 剪定			② 橋梁 (日常維持管理業務とは別業務)	② 橋梁	② 橋梁
河川		(※窓口業務、維持作業の内容は今後の調整による)				
公園						
下水道						
その他						

■ R9年度～ ① 広島県、安芸太田町、北広島町 ② 広島県、希望する市町
■ 将来 ② 広島県、希望する市町

② 発注方式等

- 契約期間の複数年化: (有) 3年程度・無 ※段階的に拡大
- 性能規定の導入: (有)・無 ※対象範囲は検討中

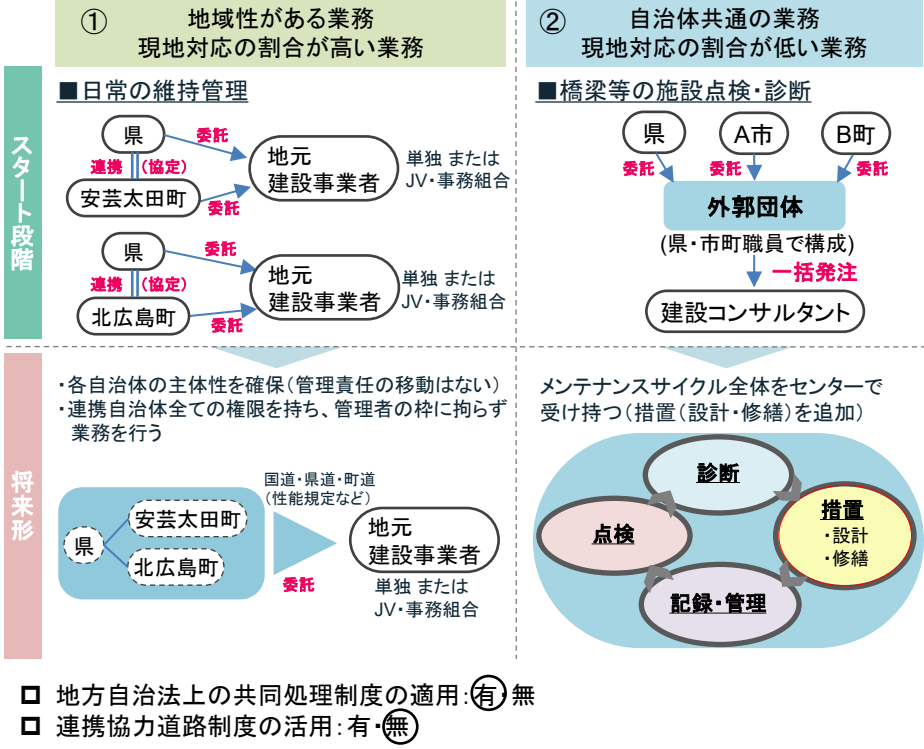
(3) 技術者連携、データ連携

① 技術者連携の具体メニュー

⇒ 外郭団体において、自治体職員・建設事業者向けの研修の実施や技術相談、有識者との連携(高度な技術が必要な案件等に対する支援)など、産官学の連携をリードする

(2) 自治体の束

- ✓ 業務の内容や特性に応じた束ね方(連携体制)を想定
- ✓ 各自治体の技術力の維持に寄与する連携体制を想定(水平補完)



② データ連携の具体メニュー

⇒ システムの共同化、データ連携を進める

システム共同化イメージ(当面): アセットマネジメントシステムなどの既存システムの共同化や、県で新規に導入するシステムの共同利用促進など

群マネの実施方針(北海道幕別町、音更町)

[自治体が抱える課題と群マネ導入で期待する効果]

橋梁プロセス連携による事務負担軽減と管理水準の統一、小規模自治体が行う性能発注による包括的民間委託を支援するシステム

[実施内容]

(1) 業務のマネジメント戦略

①対象範囲 (インフラ分野×業務プロセス)

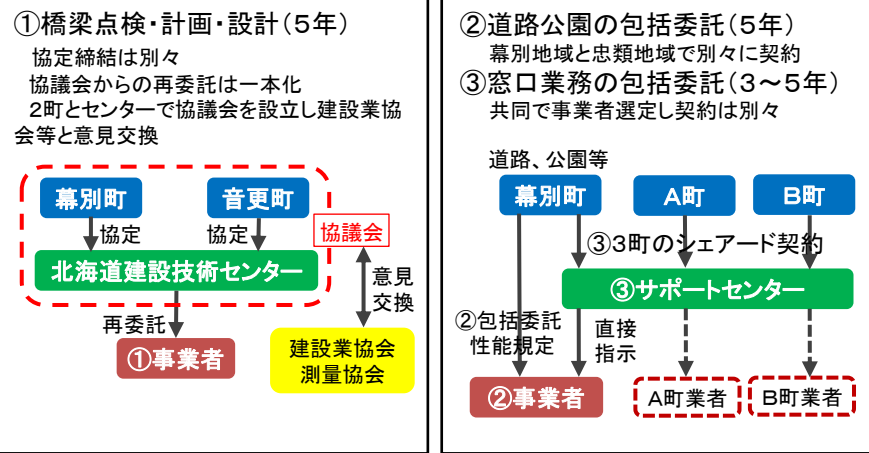
業務プロセス インフラ分野	日常維持管理業務		構造物の定期点検関連			
	窓口業務	維持作業	計画策定	点検	設計	工事
道路	③ 宿直 電話対応 メール LINE #9910	② 巡回 清掃 除草 剪定 除雪一部 貸与車両 補修工事	橋梁	橋梁	① 橋梁	橋梁
			トンネル	トンネル	トンネル	トンネル
			道路 附属物	道路 附属物	道路 附属物	道路 附属物
			舗装	舗装	舗装	舗装
河川		浚渫	河川 構造物	河川 構造物	河川 構造物	河川 構造物
公園		草刈・剪定	遊具	遊具	遊具	遊具
下水道			管路施設 処理施設 ポンプ場	管路施設 処理施設 ポンプ場	管路施設 処理施設 ポンプ場	管路施設 処理施設 ポンプ場
その他			農道・林道 臨港道路	農道・林道 臨港道路	農道・林道 臨港道路	農道・林道 臨港道路

- ① R9年度～橋梁の点検、計画、設計の一括発注（幕別町、音更町の2町）
- ② R9年度～道路、公園の包括的民間委託（幕別町単独）
- ③ R9年度～窓口業務の包括的民間委託（幕別町外の3町）

②発注方式等

- 契約期間の複数年化：有（①5年、②5年、③3～5年）
- 性能規定の導入：有（②）

(2) 自治体の束



- ❑ 地方自治法上の共同処理制度の適用：無
- ❑ 連携協力道路制度の活用：無

(3) 技術者連携、データ連携

- ①技術者連携の具体メニュー
⇒・協議会による研修会、発注者・コンサル・建設業者との意見交換
・民間インフラ事業者との人事交流の実施
- ②データ連携の具体メニュー
⇒・道路パトロール車を活用した路面性状調査
・除雪管理システムのデータ連携検討（国、道、町）
・サポートセンターの複数市町村によるシェアード契約と地図情報共有アプリを活用した性能規定支援システムの構築

群マネの実施方針

(大阪府岸和田市、泉大津市、貝塚市、泉佐野市、和泉市、高石市、泉南市、阪南市、忠岡町、熊取町、田尻町、岬町、大阪府)

[自治体が抱える課題と群マネ導入で期待する効果]

「三大都市圏内でかつ核となる中心市が存在しない基礎自治体の広域連携」

[実施内容]

(1) 業務のマネジメント戦略

① 対象範囲(インフラ分野×業務プロセス)

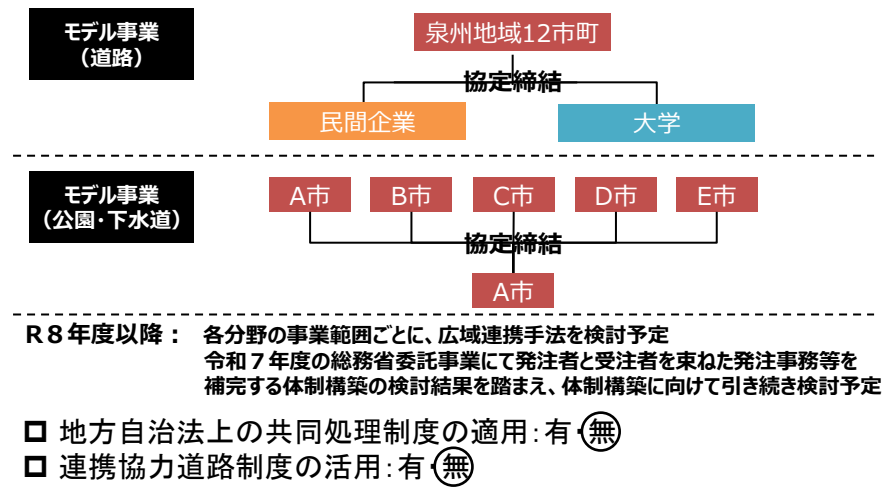
業務プロセス インフラ分野	日常維持管理業務		構造物の定期点検関連			
	窓口業務	維持作業	計画策定	点検	設計	工事
道路		巡回業務・軽作業		路面状況調査 附属物点検		
河川						
公園		維持管理・修繕業務		遊具点検 遊具点検・修繕		
下水道	排水設備登録事務	事業場排水規制業務	新技術活用検討 雨水対策の検討			

- R7年度モデル事業の実装
道路: 路面状況調査、公園: 遊具点検、下水道: 事業場排水規制業務
- R8年度以降検討内容
道路: 附属物点検、巡回・軽作業包括管理、
公園: 維持管理・修繕業務、遊具点検・修繕
下水道: 排水設備指定業者登録等事務、新技術を活用した施設健全度予測の検討、
泉州地域の特性を踏まえた雨水対策の検討

② 発注方式等

- 契約期間の複数年化: R7無、R8以降検討中
- 性能規定の導入 : 有(●●業務)・無(○)

(2) 自治体の束



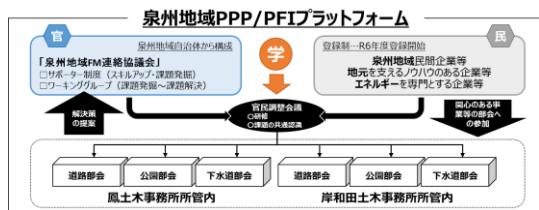
(3) 技術者連携、データ連携

① 技術者連携の具体メニュー

⇒ 群マネ参画自治体による官民連携に向けた会議・ワーキンググループ・民間事業者を講師に招いた勉強会を実施し、産官学そして金融を束ねた泉州地域PPP/PFIプラットフォームを立ち上げ、群マネ計画の策定・運用に向けた議論を行う。

② データ連携の具体メニュー

⇒ 大阪大学大学院工学研究科にて各市町との広域連携における合意形成手法の課題抽出・分析について実施。また、同大学大学院へインフラ維持管理データを提供及び分析の実施、そして群マネ参画市町と同大学大学院への連携体制を構築。



群マネの実施方針(兵庫県養父市、朝来市、豊岡市、香美町、新温泉町)

[自治体が抱える課題と群マネ導入で期待する効果]

但馬地域では、20年ほど経過すると約9割の橋梁が50年以上経過橋梁といった深刻な老朽化を迎える中、技術職員の減少への対応や、インフラ施設に対する維持管理・更新に係る予算の確保といった課題が生じている

[実施内容]

(1) 業務のマネジメント戦略

① 対象範囲(インフラ分野×業務プロセス)

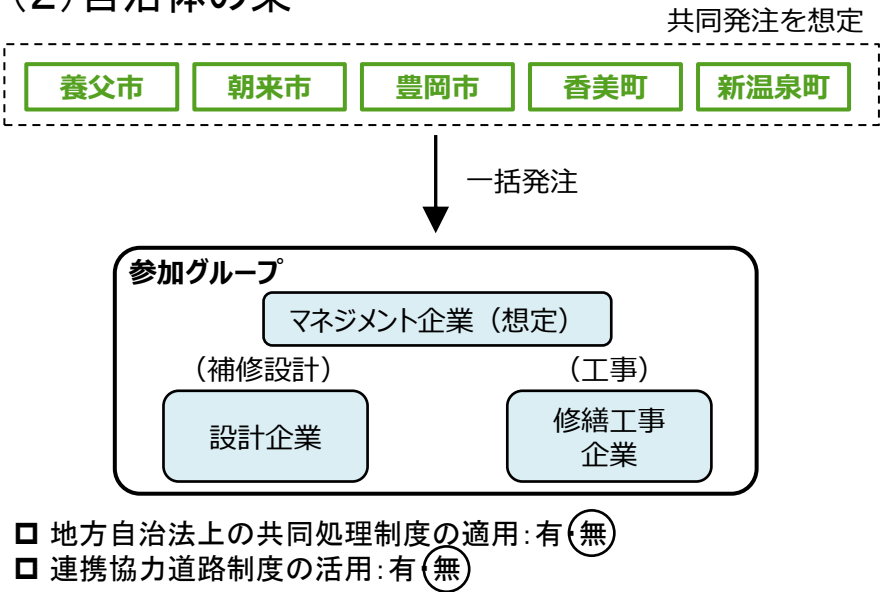
業務プロセス インフラ分野	日常維持管理業務		構造物の定期点検関連			
	窓口業務	維持作業	計画策定	点検	設計	工事
道路	巡回 清掃 除草 剪定		橋梁	橋梁	橋梁	橋梁
			トンネル	トンネル	トンネル	トンネル
			道路 附属物	道路 附属物	道路 附属物	道路 附属物
			舗装	舗装	舗装	舗装
河川		除草	河川 構造物	河川 構造物	河川 構造物	河川 構造物
公園		除草・剪定	遊具	遊具	遊具	遊具
下水道			管路施設 処理施設 ポンプ場	管路施設 処理施設 ポンプ場	管路施設 処理施設 ポンプ場	管路施設 処理施設 ポンプ場
その他			農道・林道 臨港道路	農道・林道 臨港道路	農道・林道 臨港道路	農道・林道 臨港道路

① 兵庫県まちづくり技術センターより一括発注[実施済]
② R8年度～(養父市、朝来市、香美町、新温泉町の4市町)
※ 一部市町に限定した先行発注を想定

② 発注方式等

- 契約期間の複数年化 : 有(5年を想定)・無
- 性能規定の導入 : 有(●●業務)・無(未定)

(2) 自治体の束



(3) 技術者連携、データ連携

① 技術者連携の具体メニュー

- ⇒ 群マネの導入検討を通じた但馬地域の道路橋梁実務担当者の意見交換を通じて連携を深める
- ⇒ 養父市では、(一財)高専インフラメンテナンス人材育成推進機構への入会、舞鶴工業高等専門学校との社会インフラ維持管理連携協力に関する協定締結、それに基づく橋梁復旧工事の設計支援などを実施。引き続き連携を図る

② データ連携の具体メニュー

- ⇒ 郡マネ対象橋梁の橋梁点検結果の但馬地域3市2町での共有を検討

群マネの実施方針(奈良県宇陀市、曽爾村、御杖村、東吉野村、奈良県)

[自治体が抱える課題と群マネ導入で期待する効果]

技術者不足を「地域連携×橋梁包括PPP」で解決(橋梁メンテナンスの効率化、技術補完の実現)

[実施内容]

(1) 業務のマネジメント戦略

① 対象範囲(インフラ分野×業務プロセス)

業務プロセス インフラ分野	日常維持管理業務		構造物の定期点検関連			
	窓口業務	維持作業	計画策定	点検	設計	工事
道路			橋梁	橋梁	橋梁	橋梁 (管理・支援) (施工)
			その他	その他	その他	その他
河川						
公園						
下水道						
その他						

- R7年度 橋梁点検試行(宇陀市、曽爾村、御杖村の3市村)
- R8~10年度 橋梁の一連管理(宇陀市、曽爾村、御杖村、東吉野村の4市村)

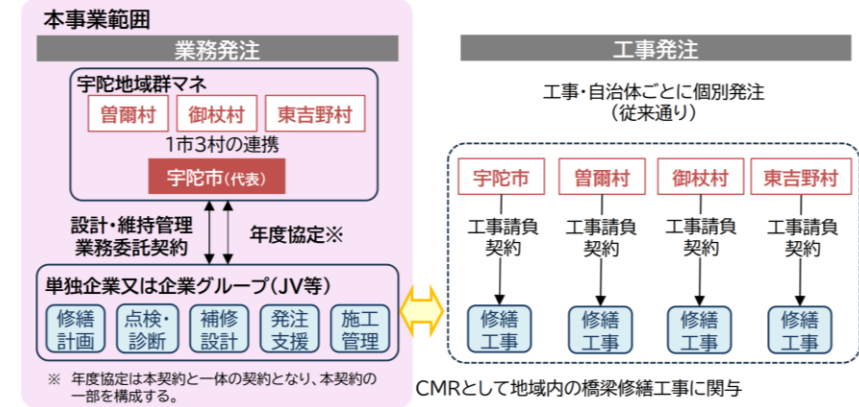
* 上記の補足
<インフラ分野> 道路 : 橋梁
・R7年度は橋梁点検業務について小規模連携を行い試行をする。
・R8年度は1市3村による計画、点検、設計、工事(管理・支援)業務を、CM方式を活用した包括業務として共同発注を行う。業務期間はR8年度~R10年度の3年を想定
・R11年度以降は、業務期間を5年(橋梁点検周期が5年の為)で検討。また業務分野の拡大を視野に検討を行う。

② 発注方式等

- 契約期間の複数年化 : 有 (3年、目標5年) ・ 無
- 性能規定の導入 : 有 (●●業務) ・ 無

(2) 自治体の束

1市3村が連携して橋梁維持管理業務委託をまとめて発注することにより、業務の効率化と技術の相互補完、維持管理の連続性向上による効果的なメンテナンスの促進を図る。



- 地方自治法上の共同処理制度の適用: 有・無
- 連携協力道路制度の活用: 有・無 (活用の検討を行う)

(3) 技術者連携、データ連携

① 技術者連携の具体メニュー

⇒奈良県を含め、意見交換会や研修会を実施する。定例的な報告調整を含む勉強会を実施する。連携による人の交流を通じて、身近な相談先など自治体間の関係を醸成する。

② データ連携の具体メニュー

⇒データの連携・一元管理(DX)を活用することで、様々な事例等、データを蓄積・応用することが出来る。また情報共有システムの活用を行い、効率的な連絡体制を構築する。

群マネの実施方針(島根県益田市、津和野町、吉賀町)

[自治体が抱える課題と群マネ導入で期待する効果]

「課題:継続的な人材確保と財源確保、 効果:インフラメンテナンスにおける効率化と高度化」

[実施内容]

(1)業務のマネジメント戦略

①対象範囲(インフラ分野×業務プロセス)

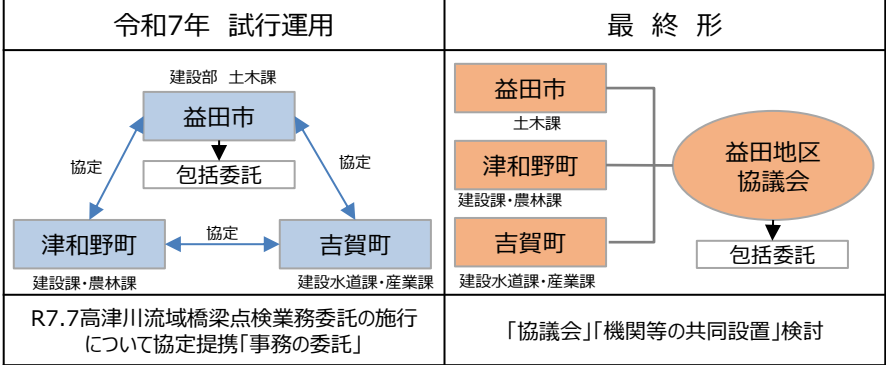
業務プロセス インフラ分野	日常維持管理業務		構造物の定期点検関連			
	窓口 業務	維持 作業	計画 策定	点検	設計	工事
道路		巡回 清掃 除草 剪定	橋梁	橋梁	橋梁	橋梁
			トンネル	トンネル	トンネル	トンネル
			道路 附属物	道路 附属物	道路 附属物	道路 附属物
			舗装	舗装	舗装	舗装
河川		除草	河川 構造物	河川 構造物	河川 構造物	河川 構造物
公園		除草・剪定	遊具	遊具	遊具	遊具
下水道			管路施設 処理施設 ポンプ場	管路施設 処理施設 ポンプ場	管路施設 処理施設 ポンプ場	管路施設 処理施設 ポンプ場
その他			農道・林道	農道・林道	農道・林道	農道・林道

- ① R8年度～橋梁点検・橋梁修繕設計 (益田市、津和野町、吉賀町の1市2町)
- ② R9年度～橋梁点検・橋梁修繕設計 (益田市、津和野町、吉賀町の1市2町)
- トンネル修繕設計 (益田市)
- ③ R7年度～橋梁点検 (益田市、津和野町、吉賀町の1市2町)

②発注方式等

- 契約期間の複数年化 : 有(5年)・無
- 性能規定の導入 : 有(点検業務)・無

(2)自治体の束



現状にて具体的な段階となっていないが、益田地域である程度の成果があれば、島根県として水平連携・垂直連携を視野に入れるとのこと。現在、「自治体メンテナンス相談窓口」を通じて、島根県内の自治体を対象とした勉強会の開催予定。

- 地方自治法上の共同処理制度の適用: 有・無 (未定)
- 連携協力道路制度の活用: 有・無 (未定)

(3)技術者連携、データ連携

①技術者連携の具体メニュー

- ⇒ 益田地域群マネ担当者会議(不定期開催)
- 益田地域インフラ群再生戦略マネジメント推進会議を開催

②データ連携の具体メニュー

- ⇒ 益田市地図情報システム(道路網図・都市計画図・市民投稿サービス)の拡充を検討している。具体的には、道路台帳の電子化と森林資源データ解析を同一システム内での利活用を1市2町にて検討している。

群マネの実施方針(秋田県大館市)

[自治体が抱える課題と群マネ導入で期待する効果]

「人手不足＋老朽インフラ増大＋多様化する業務への対応と解消」

[実施内容]

(1) 業務のマネジメント戦略

① 対象範囲(インフラ分野×業務プロセス)

業務プロセス インフラ分野	日常維持管理業務		構造物の定期点検関連			
	窓口業務	維持作業	計画策定	点検	設計	工事
道路	①	巡回 補修 清掃 除草 剪定 防除 雑木伐採			①	舗装・側溝
河川		巡回 雑木伐採				
公園		除草・剪定 防除				
農林道	②	補修 除草				
法定外		補修				
下水路	③	浚渫				

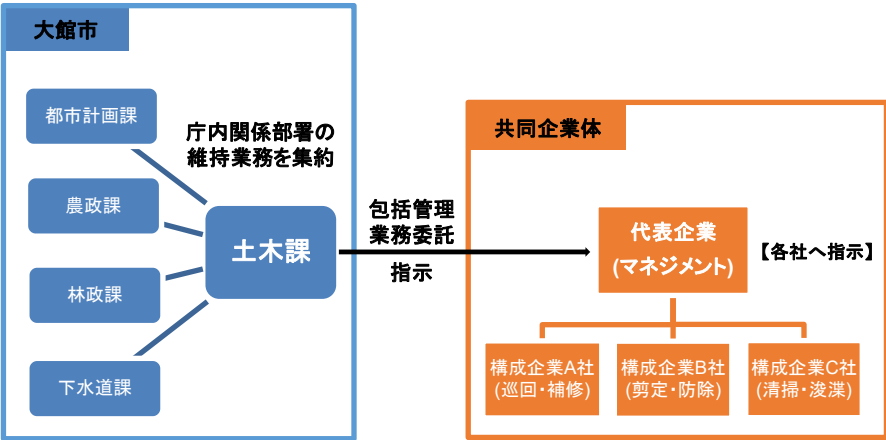
- ① R6年度～大館南地域(市単独)
- ② R7年度～大館西地域より追加(市単独)
- ③ R8年度～大館東地域より追加(市単独)

② 発注方式等

- 契約期間の複数年化 (有)(3年)・無
- 性能規定の導入 (有)(すべての業務)・無

(2) 自治体の束

多分野連携(庁内関係部署間の連携)



- 地方自治法上の共同処理制度の適用 (有)・無(広域下水道処理場)
- 連携協力道路制度の活用 (有)・無

(3) 技術者連携、データ連携

① 技術者連携の具体メニュー

- ⇒月例工程会議で、工法提案や意見交換を重ね、対策の最適化へ注力
- ⇒JVを構成する企業の強みを最大限引出し、人手不足時は構成企業が支援

② データ連携の具体メニュー

- ⇒関係者がスケジュール管理ソフトを共用し、工程管理と受発注者間の連携を強化
- ⇒道路巡回へDXシステムを導入し、路面状態の可視化と情報共有化

群マネの実施方針(滋賀県草津市)

[自治体が抱える課題と群マネ導入で期待する効果]

「今後の維持管理費の削減・人員不足に対する同種プロセスの多分野連携による業務効率化」

[実施内容]

(1) 業務のマネジメント戦略

① 対象範囲(インフラ分野×業務プロセス)

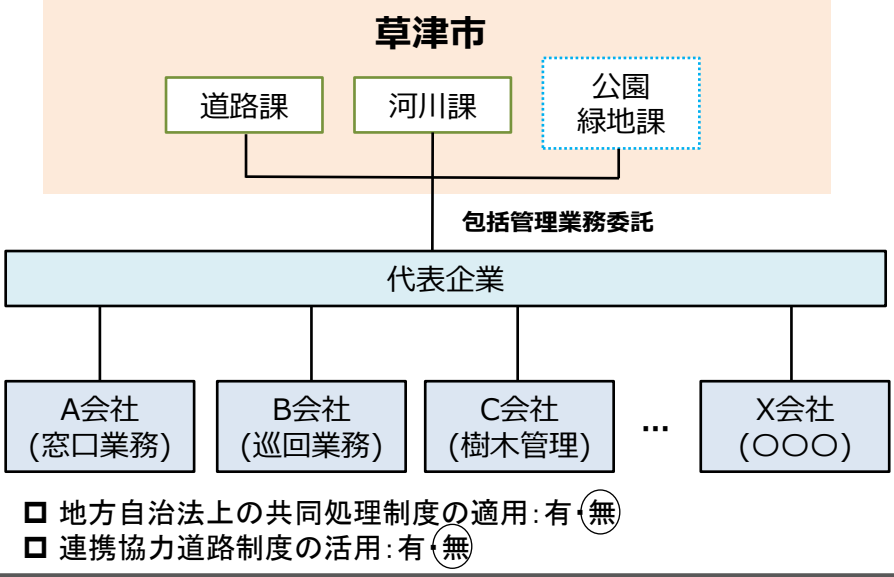
業務プロセス インフラ分野	日常維持管理業務		構造物の定期点検関連			
	窓口業務	維持作業	計画策定	点検	設計	工事
道路	①	巡回 街路樹 草刈 簡易補修	橋梁	橋梁	橋梁	橋梁
			トンネル	トンネル	トンネル	トンネル
			道路 附属物	道路 附属物	道路 附属物	道路 附属物
			舗装	舗装	舗装	舗装
河川		巡回 草刈 簡易補修	河川 構造物	河川 構造物	河川 構造物	河川 構造物
公園	②	草刈・剪定	遊具	遊具	遊具	遊具
下水道			管路施設 処理施設 ポンプ場	管路施設 処理施設 ポンプ場	管路施設 処理施設 ポンプ場	管路施設 処理施設 ポンプ場
その他			農道・林道 臨港道路	農道・林道 臨港道路	農道・林道 臨港道路	農道・林道 臨港道路

- ① R9年度～(道路・河川)※スモールスタートとする。
- ② R12年度～(公園の追加は、現在の指定管理者との契約更新の際に検討)

② 発注方式等

- 契約期間の複数年化：有(3年)・無(ただし検討結果による)
- 性能規定の導入：有(街路樹、草刈等)・無

(2) 自治体の東



(3) 技術者連携、データ連携

- ① 技術者連携の具体メニュー
⇒ 道路課・河川課の各分野担当職員の間で連携を強めることで、業務指示および管理の情報共有・ノウハウの向上を図る。
- ② データ連携の具体メニュー
⇒ 現状では、各分野ごとに独自のシステム等を運用しているが、分野横断が可能な、事業者が考案する民間のシステムの活用を検討。

群マネの実施方針(広島県三原市)

[自治体が抱える課題と群マネ導入で期待する効果]

「道路・河川・公園の業務プロセスを束ね、官民でDX多分野連携を図りインフラ維持管理を効率化させる」

[実施内容]

(1) 業務のマネジメント戦略

① 対象範囲(インフラ分野×業務プロセス)

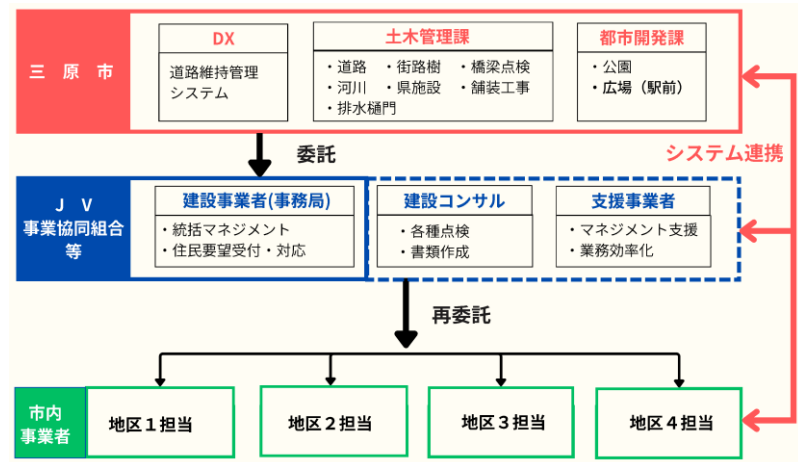
業務プロセス インフラ分野	日常維持管理業務		構造物の定期点検関連			
	窓口業務	維持作業	計画策定	点検	設計	工事
道路	①	巡回点検 補修 清掃 除草 植栽 付帯設備 県施設		橋梁		舗装
河川		補修 清掃 除草 土砂回収				
公園		植栽		遊具		
広場		補修 植栽				
下水道						

① R8年度中旬～(三原市)

② 発注方式等

- 契約期間の複数年化 (有)2年半程度・無
- 性能規定の導入 (有)維持作業業務等・無

(2) 自治体の束



- 地方自治法上の共同処理制度の適用: 有(無)
- 連携協力道路制度の活用: 有(無)

(3) 技術者連携、データ連携

- ① 技術者連携の具体メニュー
⇒ * 民間事業者を招いた包括業務や新技術に係る意見交換会を開催し、市内の官民技術者の技術力向上を図る。
* 先進自治体への視察を実施し、他市技術者のノウハウを習得する。
- ② データ連携の具体メニュー
⇒ * 発注者・受注者間で、道路・河川・公園の維持管理情報の共有が図れるよう、一元化されたシステムを活用予定。
* 維持管理情報の蓄積・見える化・分析を行い、情報の利活用を図る。

群マネの実施方針(山口県下関市)

[自治体が抱える課題と群マネ導入で期待する効果]

インフラの老朽化が進む中で、包括化による業務合理化を図り、コスト削減及び市民サービスの高質化を実現する

[実施内容]

(1) 業務のマネジメント戦略

① 対象範囲(インフラ分野×業務プロセス)

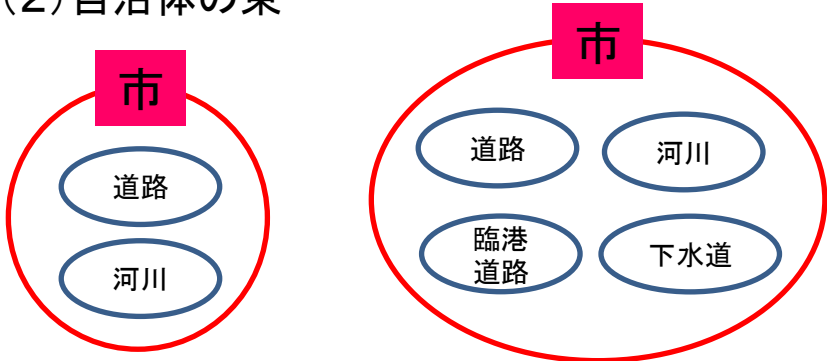
業務プロセス インフラ分野	日常維持管理業務		構造物の定期点検関連			
	窓口業務	維持作業	計画策定	点検	設計	工事
道路	①	巡回 清掃 除草 剪定 補修	橋梁	橋梁	橋梁	橋梁
			トンネル	トンネル	トンネル	トンネル
			道路 附属物	道路 附属物	道路 附属物	道路 附属物
			舗装	舗装	舗装	舗装
河川		除草・浚渫 補修	河川 構造物	河川 構造物	河川 構造物	河川 構造物
公園		除草・剪定	遊具	遊具	遊具	遊具
下水道	②	管路施設	管路施設	管路施設	管路施設	管路施設
その他		臨港道路	臨港道路	臨港道路	臨港道路	臨港道路

① R10年度～(道路における橋梁はJR跨線橋のみ対象とする。)
② R13年度～

② 発注方式等

- 契約期間の複数年化 : 有(3年)・無
- 性能規定の導入 : 有(日常維持管理業務)・無

(2) 自治体の東



【R10試行型】

【最終型(R13)】

※ 下水道は、別途ウォーターPPP導入を調整中であり、今後、連携可否を検討する。
※ 国・県との広域連携は、必要性を含め、今後、検討する。

- 地方自治法上の共同処理制度の適用: 有・無
- 連携協力道路制度の活用: 有・無

(3) 技術者連携、データ連携

① 技術者連携の具体メニュー

⇒ 庁内関係部署と定期的な協議・調整の場をつくるよう計画していく。

② データ連携の具体メニュー

⇒ 道路・河川などの部署間連携が可能となるよう、苦情処理について、コールセンターなどの民間委託システムの活用を検討する。

※ R7.12.18時点の検討内容であり、今後の調整により変更となる可能性があります。